



# WEEKLY REPORT

No. 1571(第 21 回) 2020 年 1 月 22 日(水) 点鐘:12 時 45 分 於:勇屋会館

例会/毎週水曜日 12:45~ 例会場/勇屋会館 事務所/安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F  
TEL0263 (73) 2901 FAX0263 (72) 3181 E-mail azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 中村 忠 幹事 小穴 実

2019~2020 年度 R. I テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

R. I 会長 マーク・ダニエル・マローニー

クラブ標語:「It is much More Important how to be good, rather than how to do good」

~1 月は職業奉仕月間です~



★ 配布 ・幹事報告 18 号

★ 会長挨拶 [中村会長]

私の年度も残り半年となり、これからは、次期 丸山 (慶) 年度と色々な事をすりあわせしていく時期となりました。丸山エレクトにおかれましては、これからが忙しくなる時期です、本当にご苦労様です。



来年度予算では、特に考えなければならない事の 1 つに、会員減少のことがあります。と申しますのは、現在 2600 地区では新クラブとなります、E クラブの創設に動き出しています。E クラブは、皆様もご存知の通り、ネット上で例会を開催するクラブです。地区事務所内には、新クラブ設立推進委員会が立ち上がっており、2020 年 1 月号の月信に古川ガバナーの「新しい年を迎えて」の記事が掲載されておりました。抜粋しますと、E クラブは、全県下をエリアとし、仕事の関係で平日昼の例会に出られない人、会費が高くて入会を躊躇している人、また、退会した人もそういうことだったら再入会したいという方も出てくるかもしれません、(これは大変いいことですが)、それ以外にも、ローターアクトの OB・OG、米山奨学生出身者等、2600 地区内の様々な方を取りこんでの新しいクラブ運営です。1 月より本格的に会員募集を行なっています。是非新たなロータリー仲間を増やしてください。ということです。

このことは、前回の例会で小穴幹事より話がありました通り、私どもあづみ野 RC のメンバーもかかわっているようなので大事な問題です。そうしますと、当然、来年度の会員数は間違いなく減ります。来年 1 年間の予算、奉仕活動等考えますと、頭の痛い問題です。事業の継続、中止等、ご意見をいただければと思います。

★ 幹事報告 [小穴幹事]



別紙参照

◇出席

会員総数 27 名 出席免除会員数 3 名	
本日の出席率	前々回 (1 月 8 日修正出席率)
出席者: 14 名	欠席者: 12 名
欠席者: 10 名	メキップ: 10 名
出席率: 58.33%	出席率: 91.66%

◇ニコニコ BOX

赤羽: 本日早退します。欠席続きで申し訳ありません。  
場々: あたたかい冬ですね。  
濱: コロナウイルス心配です。

井口：欠席が多く大変申し訳ございません。

飯田：濱会員の年男スピーチ楽しみにしています。

石田：濱さん、年男スピーチ楽しみにしています。

岩波：濱さん、年男スピーチ楽しみです。

笠原：財布忘れましたが、車にあるだけ入れました。

丸山（慶）：来期役員理事会承認ありがとうございます。クラブ協議会よろしくお願ひします。

中村：クラブ協議会よろしくお願ひします。

小穴：濱さん、年男スピーチ楽しみです。

下里：雪がなくて冬らしさ感じませんね。

高木：暖かくて楽ですね。

[22,000円]

**今年度ニコニコBOX計 400,800円**

### ★年男スピーチ 濱 昭次 会員



今年は子年、私の干支である。72歳になるから6度目の年男ということだ。この前は60歳還暦で、昔から最も人生の意味や意義を込めて取り沙汰される事が多かったが、全て

が未だ現役で日常生活を送っていたので特別な感情はなかった。しかし、今回は多少違う。それは日本男子の平均寿命が81～82歳で、単純に言えば次回の年男は迎えられる理屈だからである。

この事から、私は2つ、3つの事柄に想いをこめ意識改革と実践をしようと考えた。一つは別に大した事ではないが、私は父を5歳の時突然亡くした。父は42歳の俗に言う男の大厄だった。昭和28年豊穂中学校（後の豊科中学校）教員だった父は、前日学校の庭園の竣工祝賀会で祝いの酒を頂いて帰宅し、翌朝脳溢血で帰らぬ人となった。6人兄弟の末っ子だった私だが、一人だけの兄は糖尿病からくる脳梗塞により64歳で病死、後は4人の姉達だけになった。その後、我が家の男系寿命を調べると、江戸時代後期から新宅に出て以来私は7代目らしいが、明治以降72歳と記された位牌が最も長寿で、正しく今年私はその年を迎えようとしている。だからいつもと変わりのない一年かもしれないが、意識の中で、今年一年を大事に生きようと思った。

もう1つは、自分の家族は結婚して3人の娘を授かったが、大学を卒業して実家に入った時から、わたくし以外は全て女で、メーカーの営業マンとしてほぼ毎週火曜日から金・土辺りまで宿泊を伴う出張の繰り返しで家の日常がままならず、そこで30歳の時

勤務していた会社の仕事がいやだった訳ではなかったが、学卒で入った会社を辞め、全く畑違いの設備屋に見習いで入り修行ののち、昭和60年6月現在の会社を法人として創業した。

早創業35周年を迎えるが、子供は3人共女の子でそれぞれ嫁いでいたり、本より設備業は余り女性向きとは言えず、今いる5人の男子社員は全て他人だが全員が38歳～45歳の働き盛りだし20年勤続もいる。全員がこの会社で何とか頑張りたいというから、この子達に会社を引き継ごうと考えた。長野県内の企業経営者の平均年齢は60.～61.歳らしいのだが、私ももう既に72歳の年男にして10年以上経営者の平均年齢を上回ってしまっている。だから今年が引き継ぐ最高のオポチュニティだと思った。財政的・組織的に会社の現状をしっかりと見極め、出来る限り不安材料を取り除いた状態で引継ぎができるように、会計士と相談して臨みたい。

2つの事を述べたが、総括として、私は6人兄弟であったが中学2年になる時上の兄弟は全員家を出て行ったため、成人になるまで大家族を感じた事はなく、がしかし皆急に変わってしまった自分の人生を自分自身で生きて行く為に家を出たのだろうし、誰が悪いわけでもない。そう言う宿命だとは思ふ。

今この年になって、言ってみればだから他人との付き合い、特に両親の兄弟の子（いとこ）、自分の子供達の子（いとこ）にはせめてそこまではどんなことがあっても、付き合いを切らず、出来る範囲の中で助け合うことを言い続けたい。自分もそう考えて生きてきたつもりが果せなかった。

知り合いにロータリアンやライオンズのメンバーが大勢いるが、皆それぞれの思いから活動しているが、私の場合は全く定まっていなかったわけだが、只72年の人生で得たものは「人」或いは「人との付き合い」を自ら減らしてはいけな、そう思っています。

